

野毛山動物園セミナー2024 を開催します

野毛山動物園では、令和6年12月15日(日)に「野毛山動物園セミナー2024」を開催します。今回は、野毛山動物園で新たに飼育展示を開始した「ミヤコカナヘビ」をテーマに講演を行います。自然環境研究センターでミヤコカナヘビの保全に携わる高橋 洋生氏を講師に招き、ミヤコカナヘビを横浜で域外保全する意義や動物園が担う役割のほか、ミヤコカナヘビを守るために何ができるかを参加者の方々と考えていきます。

また、飼育担当者による野毛山動物園のミヤコカナヘビの紹介をあわせて行います。

開催日時	令和6年12月15日(日) 13:30~15:00 (受付開始 13:20)
開催場所	野毛山動物園 ひだまり広場 屋内休憩所
講演・ 研究発表内容	講演:「ミヤコカナヘビの保全事業について」 高橋洋生氏(自然環境研究センター) 発表:「野毛山動物園のミヤコカナヘビ」 大滝有介(野毛山動物園)
定員・参加費	先着40名・無料 (事前申し込み)
申込方法	野毛山動物園ホームページの申込フォームからのお申込み 【申込期間】令和6年11月15日(金)~12月13日(金) ※定員になり次第締切



当園で飼育しているミヤコカナヘビ



指定管理者:(公財)横浜市緑の協会



GREEN×EXPO 2027を
応援しています

お問合せ先

野毛山動物園 園長 田村 理恵 Tel 045-231-1307

【参考資料】

■講師の紹介

高橋 洋生（たかはし ひろお）

1996年に琉球大学に入学、3年次から爬虫両生類学の研究室で琉球列島に生息する地上性ヤモリ、クロイトカゲモドキ類の生態と行動の研究を開始。2003年から東邦大学大学院博士後期課程に移り、マダガスカルに長期滞在しながらカメレオンの行動や生態の研究を行った。

2008年から一般財団法人自然環境研究センターに勤務し、おもに爬虫類・両生類を対象に、国や自治体の希少種保全や外来種管理等の様々な事業に携わっている。ここ数年は琉球列島に通って野外調査を行いながら、絶滅危惧種ミヤコカナヘビやトカゲモドキ類の報収集、保全計画検討、普及啓発等を進めている。

■ミヤコカナヘビについて

和名	ミヤコカナヘビ
英名	Miyako grass lizard
学名	<i>Takydromus toyamai</i>
分類	有鱗目 カナヘビ科
分布	沖縄県宮古島市（宮古島、池間島、伊良部島等）
形態	全長はオスが約29cm、メスが約27cmで、尾が体の7割を占めています。体は細身で、鮮やかな緑色をしています。
生態	草地に生息していますが、農耕地、住宅地周辺の空き地のような環境でも見られることがあります。昆虫類・クモ類などを食べています。
国際自然保護連合（IUCN）レッドリスト	EN（近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種）
当園飼育頭数	37頭（性別不明） （令和6年9月30日現在）
国内飼育園館	7園館 499頭 （令和5年12月31日現在）

■野毛山動物園について

入園料：無料

開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）

休園日：毎週月曜日（祝・休日の場合は翌日）※5月・10月は無休、12/29～1/1

交通：JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅下車徒歩15分、

または市営バス89系統「一本松小学校」行き「野毛山動物園前」下車すぐ
京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩10分

URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeyama/>

住所：横浜市西区老松町63-10

問合せ先：045-231-1307